

〇〇さん、さっきから手が動いてないようですが、モニタをぼうつと眺めていても仕事はすみませんよ

あ……は、はい、いや、その、頭の中で、色々まとめている最中でして

〇〇とは俺のことだ。
あまり作業が進んでいない俺は、低めの声の女に軽く注意を受ける。
抑揚はないのだが、軽く苛立っているのがわかる。いつものことだ

はあ……なんでもいいから手を動かしてもらった方がいいんですけどね。ま、いいです。でも、既に遅れているんですから、お願いしますね

はい……わかってます

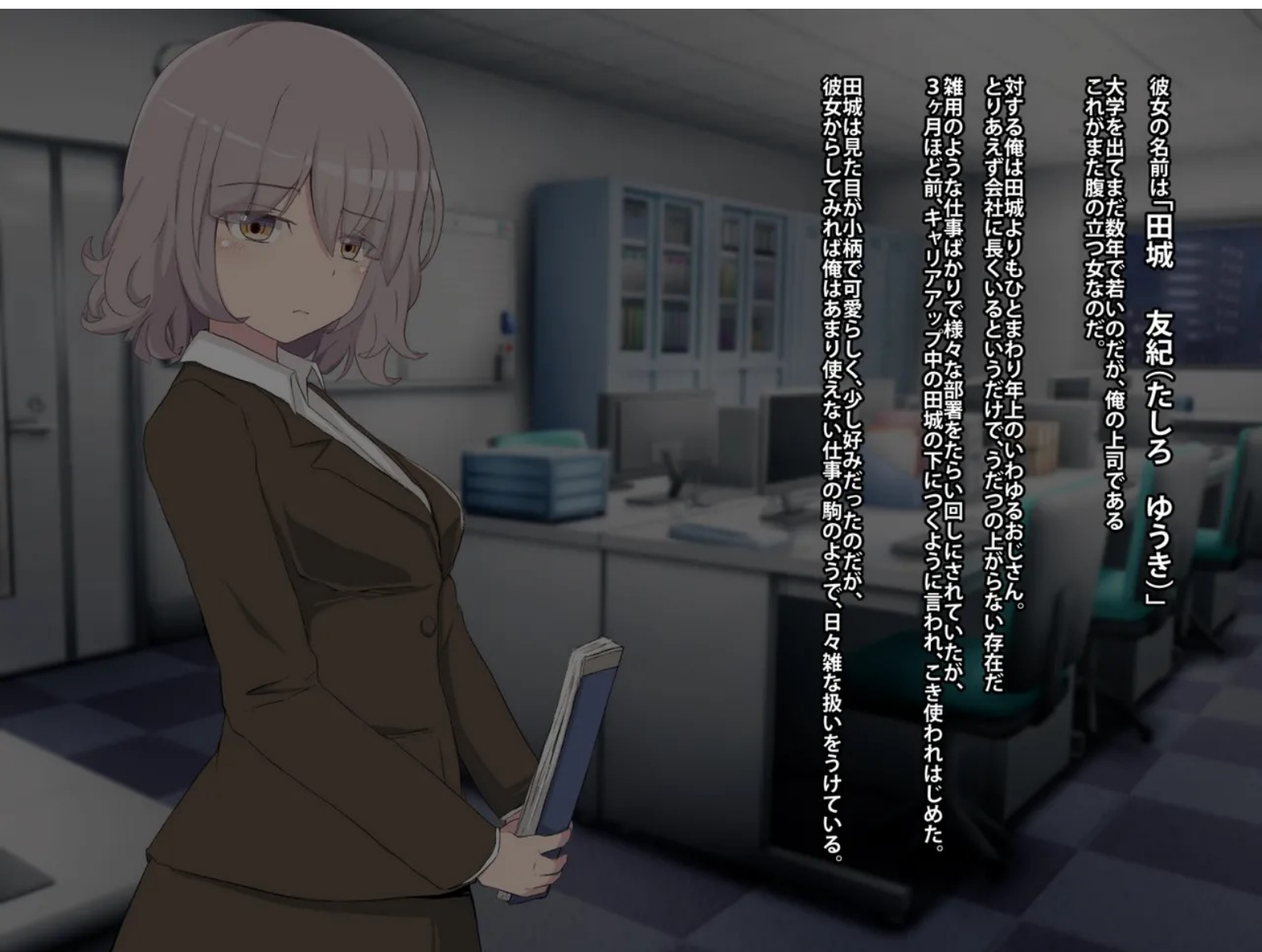


彼女の名前は「田城 友紀(たしろ ゆうき)」

大学を出てまだ数年で若いのだが、俺の上司である
これがまた腹の立つ女なのだ。

対する俺は田城よりもひとまわり年上のいわゆるおじさん。
とりあえず会社に長くいるというだけでうだつの上がらない存在だ
雑用のような仕事ばかりで様々な部署をたらい回しにされていたが、
3ヶ月ほど前、キャリアアップ中の田城の下につくように言われ、こき使われはじめた。

田城は見た目が小柄で可愛らしく、少し好みだったのだが、
彼女からしてみれば俺はあまり使えない仕事の駒のようで、日々雑な扱いをうけている。





提出するものを催促してくるときは
見下したような目でこちらを見てきやがる
まあ、俺がどんくくっていつも遅れてるわけなんだが

あの、書類……

はあ、まだなんです
まあいいですけど



出したら出したで冷たい反応。
さらには嫌味まで言ってくる始末。
ちよつとはありがとつか言ってくればいいのに

……そこに置いて
もらっていいですか？
時間、かかりましたね



少しは好印象を与えようとこつちから挨拶したら
反応は薄いわ、目に入れたくないような対応するわ……
年上に対する敬意でもんかまるでない
お前よりだいぶ年上なんだぞ……？

……あ、
はい、オハヨウゴザイマス……



ちよつとばかり要領と頭がよくて仕事ができるからって、
こんな大人の男(おじさん)に冷たい女は懲らしめてやるしかねえ。

なので、

睡姦

してやることにした。

会社、社会の立場なんてより、この女を教育してやる方が大事だ。



週末の残業中、部署に残っているのは俺と田城さんだけ。
他の人員が滞りなく帰宅する日が今日で、うまいこといった。
俺はこのタイミングを狙って自分の仕事をちゃんたらだらだらすすめ、
上司の田城さんに多少の尻拭いをさせることに成功した。
まあ、こつというところが嫌われる原因のひとつなんだろうが……。

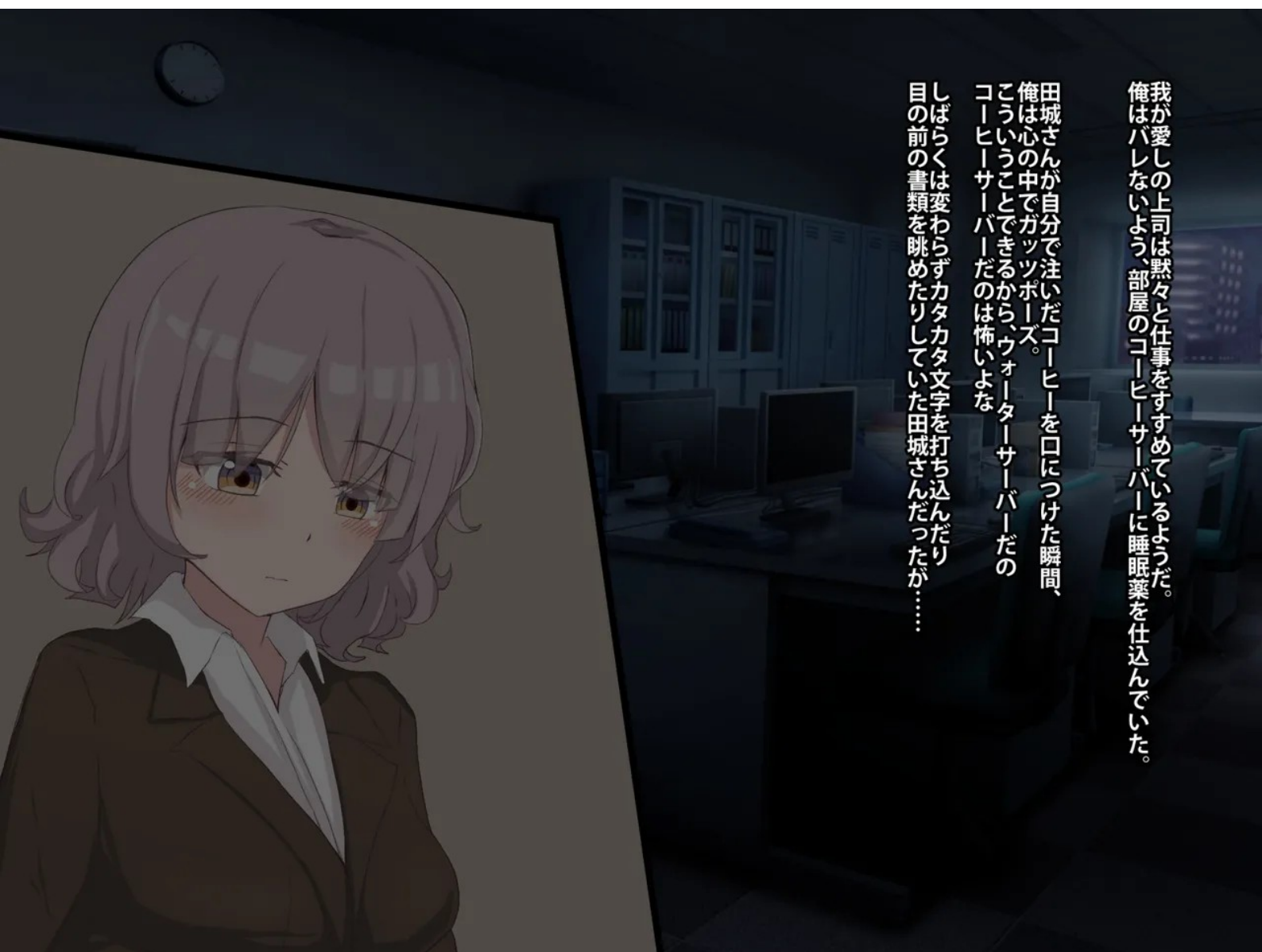
また○○さんのせいで残業が、
まあ、もう慣れたけど、はあ

カク
カク

我が愛しの上司は黙々と仕事をすすめているようだ。
俺はバレないよう、部屋のコーヒーマシンに睡眠薬を仕込んでいた。

田城さんが自分で注いだコーヒーマシンを口につけた瞬間、
俺は心の中でガッツポーズ。
こういうことできるから、ウォーターサーバーだの
コーヒーマシンだのは怖いよな

しばらくは変わらずカタカタ文字を打ち込んだり
目の前の書類を眺めたりしていた田城さんだったが……



10分ほど立つと、やたらと背伸びをしたり
首を傾げたりして、落ち着きがないように見える。
普段こないはずの眠気がきて困惑しているのだろうか、
そうであつてくれたらいいが、

ちなみに、俺の方の仕事はからきし進んでいない。
彼女の動きをチェックするので精一杯だから……



あの、田城さん、田城さん？ おうい
目をつむって首を預けてしまっている。
はじめはぐらぐらとしていたが、やがて動かなくなる

おい、仕事はどうなってるんですかあ？
……このまま寝てると、レ、レ○フしちゃいますよ
もう大丈夫だろうと思って、ちよつとふざけてみる。
全く反応はない。やったぜ、完全に夢の中のようにだ



……ん……すう

上手くいった。完璧だ。
仕事は上手くないが、こういうことはスムーズにいくんだな。

これから変態まがいのことをするわけだが、
部屋の戸締まり、後片付けはきっちりしておく。
仕事……は知らん。来週有能な田城さんがやってくれるでしょう

生意気な上司をおぶってオフィスを出た。
……うっ、胸が背中に当たってもう勃起してしまった



——あらかじめ目星をつけていたホテルの部屋をとり、ぐっすり眠る上司を優しくベッドの上に寝かせた。少し寝苦しそうだだったのでシャツのボタンを少しだけ開けてあげる

おいおい田城さん、いいんですか？
こんなうだつの上からないおっさんと
ホテルで二人きりなんて

キュ

んう...

zzz

スー・スー

ピン

もぞ..

自分で言ってる少し悲しくなるが、
もちろん目の前の上司から返事はない。
普段のぶっきらぼうな面とは違って、
子供のようにスヤスヤだ

寝顔は思ったより幼いんだな、
それもそつだ、俺とは年がひとまわりは離れている。
コイツが子供だった時に俺はすでに働いていたのだから

それなのに全く……いつもいつも見下したような、
アナタに興味ありません。くんなみたいな顔で見てきやがって

眼中になどないのはわかっているが、
それがまた腹立たしい。

…？

4ズ

仕事が遅い遅いつてケチつけられてきましたけどねえ、
今日はたろつぷり時間ありますからね、覚悟しとけよ……

はあ……はあ、こうやって、外す、のかね

クッションの上に下半身をそつと乗せ、
スカートを下ろし、じいっと観察する。
優しくア○コを覆われたパンツの色気がすごい

ん

んん、ちよつとムワつときたぞ……
エッチだなあ、へへ

もちろん起こしてしまわないように丁寧に触っている。
まだ何もしていないのだから、それだけは避けないと

ピン

もじ…

少し間を置き、いつもは不機嫌そうな上司の顔を眺める。
下着が丸見えだというのに、寝心地はよさそうだ。

あんまり色気のない下着だなあ……
週末は何の予定もないってか

…zzz

彼氏などいないのだろうか。
まあ、顔は可愛いが、無夢想だからな

すい、
すい

さあてそれじゃあいきますよ。
田城さんのゾーンはどんな感じなんですかー

勝手な想像もこれぐらいにして、
お楽しみを続けることにする。

もぞ

ひく

むちっ♡

わぁ……………いいねえ

想像以上にエッチに整っていて、上手い言葉が出てこない。
キレイな肌に少しだけ汗で湿っぽい陰毛がうつすらと生えていて、
あまり経験のなさそうな可愛らしい穴を頼りなく守っている

キュッ

んっ…
…?

AVでみるのとはわけが違うなあ、
というか……

いつも自分を蔑んでいる女が大事なところをさらけ出している……。
ムチャクチャ興奮しているが、これはしてやったりという気持ちも強い

ふぁっ

ぴく
く
と

プル
プル

~~~~~



心なしかいい匂いもしてくるような……  
はあ、田城さんのせいで勃起しちゃいましたよ。  
どうしてくれるんですか、上司なんだから責任とってもらわないと

勃起はもともととしていたのでこれはウソなのだが、  
上司だから責任をとるっていうのは本心だ。  
これが社会の仕組み、ルールよ

??

ん……

まあ安心してください。じっくり、ゆっくりいきましよう。  
田城さんはこういうのあまり経験なさそうですね、  
おじさんがやさしく教育してあげます

別に俺も経験豊富なんてわけじゃないのだが、  
性欲だけは若いもんには負けてない。  
返事のない女上司に向かって好き勝手言うのはたまらん

ヒク  
♡

キューン

下の毛をひとときしり鑑賞し楽しんだので、  
もちろん上半身にも注目する、当たり前だ

...zzz

さほど大きいモノをお持ちではないですが、  
形はちよūdよさそうですなえ、ん？

んっ

スーッ  
スー...

ブラウス、シャツを丁寧に脱がし、汗ばんだ肌と、  
薄い色のブラに目が釘付けになる。

へへ、なんだかんだで女なんだなあ。  
ちよつと寄せてるじゃないか

♡

〃

支えるようにして胸を触っていく。  
ちよっとやさっとでは起きることはない強力な睡眠薬だが、  
カラダに触れるときはどうしても少し警戒してしまう

んっ

生地の手触りなんだろうけど、柔らかくて、  
うん、大変よきものですな………

ポッ

ピン

俺は独り言が多いタイプではあるのだが、  
胸を触り出すとついつい無言で集中してしまう。  
ズボンの中のペ〇スは興奮しきっていて、  
我慢汁ですでに汚れてしまっている

田城さんの、せいですからね。  
それじゃ、使えない部下の世話、よろしく頼みますよ……

は〜気持ちいい、  
ハア、ハア、うう

ベッドに腰掛け、田城さんの顔を俺の股間に埋めさせる。  
もうペ〇スがこらえきれなくなってきたので、口で慰めてもらう

はあ、うっ……我慢汁、  
もう溢れまくってるな。  
田城さん、どうです？ 俺の味は

ぬちゅ

さわ

ぴん

ぐ

……っ、んむ



頭を乱暴に掴むと、柔らかい髪の毛の感触が手に伝わる。  
ふわっとして、抜群の手触り……

髪もキレイに手入れしてるんですね。  
いっぱい、なでてあげますよ、普段のお礼に

ハァ  
ハァ

くしゃ  
ん

サッ  
サッ

スッ…

なでるといふよりは前後に揺らす感じだが……。  
舌がモゴモゴと動いて唇に俺の陰毛がサワサワとぶつかると  
盛り上がりすぎて、頭を押さえる手の動きが強まってしまう

はあ……はあ、ハァ、  
田城さん、田城さん

ぐっ  
ゲ

ヌ  
ム

…zzz

んっ  
んぐ…

いや、ここは……下の名前、友紀（ゆうき）だったよな？  
友紀、友紀っっ、どうだ、俺のち○ほはっ

恋人のように名前を呼び、  
まだ洗っていないペ○スを喉に押し込んでいく。

グッ  
ちゅっ

ぐいっ  
ぐいっ

んう、んっんっ

んっ！

もう気にせず激しく動かしてしまっているので、  
友紀も苦しそうだ。もちろん、舌と喉に、  
中年の精液を目一杯味あわせてやることにする

ううう、出るっ、全部出るぞっ!!  
飲めっっ、友紀っ! っはあ

んっ、んん、んくっ  
んん!!

ばるるる

ギョッ

ピクッ

後ろ髪をくしゃりと押さえつけ、  
友紀の喉奥に力いっぱい射精する。  
今日は我慢汁を垂らしていた時間が長かったので、  
とんでもない量が出てしまった

はあ……はあ、うう、最高だ。  
生きてきてよかった、そう思えるな

こんな思いができるなら、ムカツク年下女上司に  
こき使われた日々も無駄ではなかったなあ。  
もちろん、エッチな時間はまだまだこれからだが

へっ!!?

んん……こくん、  
んく、んっ……

びゅ

ビュッ

ほら……今度は下のお口ですよ

ベッドに仰向けにさせ、  
若干汗ばんだ下半身の上に  
精液で汚れたベ○スを優しくあてがう

田城さんの陰毛にも少し精液、  
くっつけてあげますね

あまりゴワゴワしていない柔らかな陰毛に、  
精液の残りを拭き取るようにしてなすりつける  
少しでも綺麗になり、膣内に入る準備が整った

それじゃいきますよ。  
仕事はテキパキといかないとですよね。  
田城さん、いいんですね？

返事はないので、  
ゆっくりゆっくりと挿入していく

…222

??

えっ…  
スー…

ん

ん

ん

ズン

ん

グッ



.....んっ.....

う、ちょっときつらいけど.....

ビュッ

んっ

プププ

グッ

男臭いベ〇スを田城さんの膣内へぐいと押し込んでいく。  
入り口はきつかったが、ひとたび中に入るとどんどん飲み込まれていった

はあ、うう.....田城さんも、欲しかったのかな？  
ハア、ハア、中がすごく動いてる

.....んっんう

っ!!

挿入し、少しだけ余裕ができたので、軽く動かしていく。  
ブラにつつまれた胸が軽く動き、田城さんの息も荒くなる

ズンズン

ふうふう。ふう、すごくいいですよ、田城さんの膣内。  
どうですかね、使えない部下の汚いち○ぽは

.....あ、うっ、ん

もーん

ぐんぐん

上司ならしっかり、部下をリードしてくださいよ。  
ほらっ!! もっと動かしていくぞ.....

っ!!  
っ!!



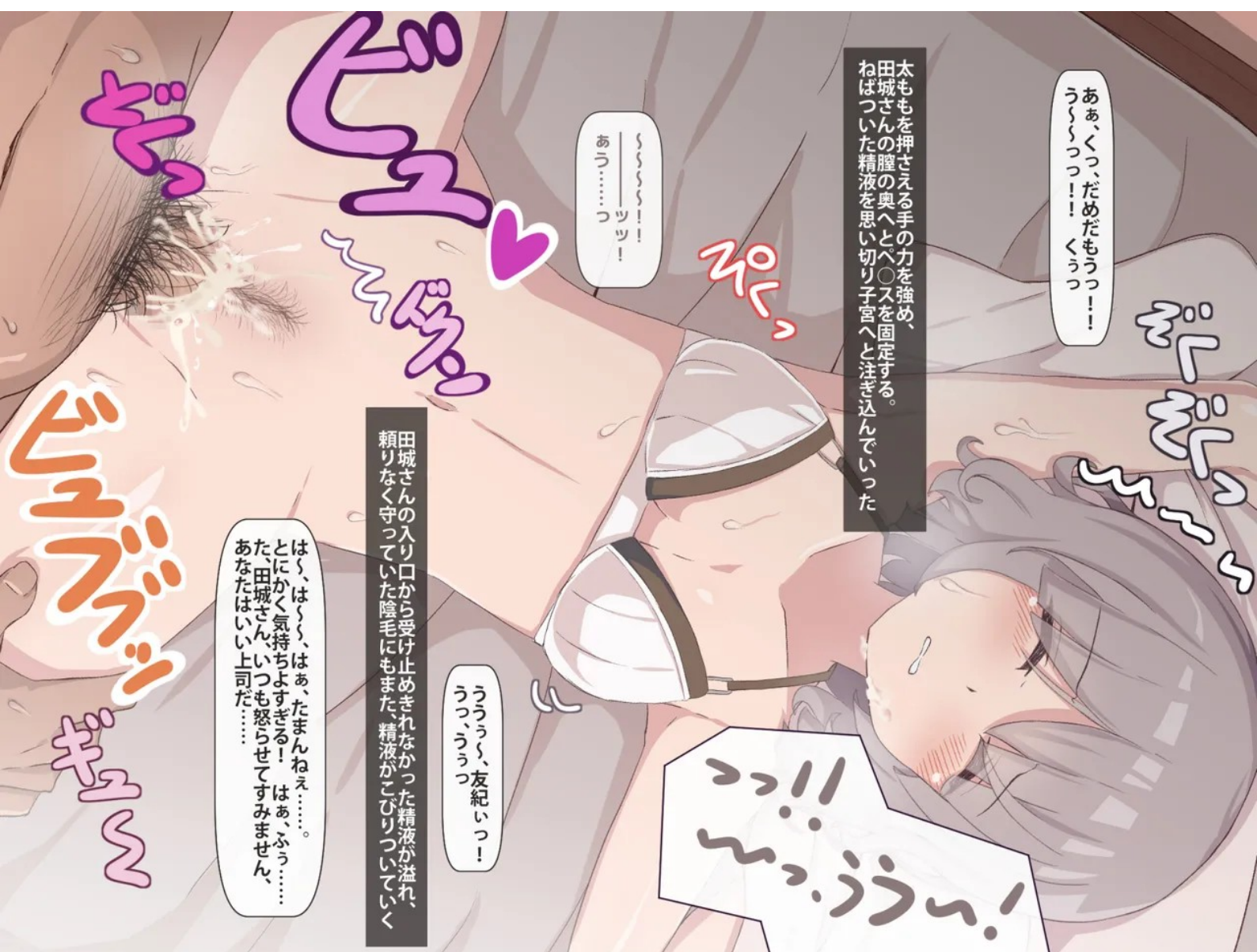
はあっ、はあっ！  
田城さん……うう、  
友紀っつ！ 友紀！

気分が盛り上がってくると下の名前で呼んでしまう。  
ひとまわり以上年齢は上だが、  
俺はすっかり彼氏気取りだった

ああ、全部出すぞ！ 友紀の中にっ！！ 全部っ！  
心の中で馬鹿にしてるんだろ！  
冴えないおじさんの汚い精液、受け取れっ

……っつ、  
んっんんん

あっ……！  
んっ



ふう……ふー、よかった、最高だった

ぴくっ

すごく……よかったですよ、  
田城さんの中

昏睡しているが、息は荒く、疲れ果てているようだ。  
仕事中はこんなに消耗した姿は見せないのにな

田城さんの膣内にひとときしり射精した後、  
たっぷりと余韻を楽しんでからペ○スを引き抜いていた

……うう……ん

はあ、  
ハ

田城さんの中で少し汚れてしまったので、  
きちんとお掃除してくださいね

グッ

うっ……柔らかい、ですよ！ これ

俺は一言ことわりを入れてから、  
ペ〇スを田城さんの可愛らしい唇へと軽く押し付ける

触れた瞬間、口元が少し震えたようだが、  
俺の男性器へのキスを拒むことはできない

ぐゅっ

ぐゅっ！

うあ……残った精液も、押し付けますよ。  
おら、もっとしっかり……吸えっ

ググン

んむう……ん、ンフ……

お口までこんなにエロいとか、  
年下なのに尊敬できる上司ですね。  
プンプン怒るより、  
この使い方のほうが有意義ですよ

♡♡♡

ビクン〜

ちゅ

…  
…  
…

このままぐりぐりと押し付け、  
軽くついてみたりする。  
少し歯に当たったりして、  
田城さんの口は精液と愛液でべとべとだ

ズク

いつもの姿、顔を知っているからこそここまで興奮する。  
そうこうしているうちに俺の下半身はまた元気を取り戻していた

はい……遅くなったけど、  
もちろん見せてもらいますよ

よくよく考えたら遅すぎる気もしたが、  
いよいよおっぱいを見せてもらった。  
楽しみは少しずつ、色々味合わないとな

うくんやっぱブラで寄せてたんですね、  
大して大きくは……ない

形もそんなにいい方じゃない。比較対象はグラビア等だが。  
でもこういう感じの方がワクワクするのでオッケー

プルン

んっ!!



ギュ

若干重力に負け気味な胸に、  
再び大きくなったペ○スをこすりつけていく

すっげーふにやっとしてる……  
いつもキリッとしてる  
田城さんとは大違いですね

だらしなおっぱいに……  
男性ホルモン染みつけてあげますよ

ぐっ

へっ!

たまに左右の乳房に触れさせながら、  
体重をかけてペ○スを押し付け、快感を得る



ギーッ  
♡

はあ、はあ……ちよっと刺激は少なめだけど、  
田城さんの顔がよく見えて、いいな

……っ

俺と話すときは怒っているか不機嫌かなので、  
ここぞとばかりにじいっと顔を眺め、  
胸に押し付けて腰を動かしていく

グリ  
グリ

なとあ..

んい...  
んっ

おらっ……悔しかったらいつもみたいに小言いってみろ。  
友紀っ！ 友紀っっ！ はあ、はあ

友紀っ！  
出る、出すぞ、またっっ！！

普段の怒りと性的興奮をこちゃまぜにして、  
俺は濁った精液を遠慮せずに吐き出していく。

うっうっ！  
くっ………ふっっ

………っ！ん………

顔にまで精液が飛び、田城さんを汚していく。  
最高の画だったので、落ち着いてから写真に収めておいた。

〜！！

ビュッ

ッ

プル

どくどく



うんうん、田城さん、すごく似合ってますよ！  
.....なんて

.....

...zzz

ピンッ

この日のために注文しておいたマイクロビキニを  
優しく優しく着せてあげた。  
バカみたいな格好だが、普段真面目な上司が着ていると、  
おかしくもあり興奮もとまらない

こんな服、いいんですか？  
会社の風紀が乱れますよ。  
あ、証拠として.....そうですね、  
これも写真に撮っておきますからね

自分のスマホで手早くカシヤカシヤと撮影する。  
ホテルの一室でのカシヤっ!! って音は、  
イケナイ撮影をしているような気になってくる。  
当然イケナイ撮影なのだが

へへ、大丈夫、流出なんかさせませんから、  
俺が捕まっちゃいますからね、  
自分でオニーするのに使います

...zzz

んう...ん

ぴくん

もぞ...

念入りにいろんな角度で50枚ほど撮影した。  
あまりここに時間を割くのももつたいないので、  
名残惜しいがカメラマンこっちはここまです。

田城さんがそんな格好だから、  
俺興奮してきちゃいました。  
世の中の男が放っておきませんよこんな姿

あゝ、気持ちいい。カラダ、  
柔らかくて、いい匂いだなあ

.....っ

今更といえは今更な感想だが、マイクロビキニを着せると、  
エッチな匂いが濃くなった気がする。  
密着させるように挿入し、ラブラブなセッ○スだ

田城さんのせいで、俺の腰、動きとまらないですよ。  
もうどうしてっくれるんすか.....っ

準備もなにもなく、向かい合って恋人のように腰を打ち付けていく。  
小慣れた田城さんのア○コはあったかくて、やはり気持ち良かった



……ありんうつ、  
はあつむう……えう

田城さんのカラダが小刻みに揺れ、体温が高くなった気がする。抵抗できずにレ○プされているが、感じてくれているのだろうか。

うっ、友紀のくぐもった声も、可愛いよ……！  
いっぱい、出してやりたく、なっちまうな

もの言わぬ上司に好き勝手に語りかける。  
今日は危険日なのだろうが、そんなことおかまいなく、俺は射精するべく、腰の動きをはやめていく

はっ、はあっ、はあ、はあ、いくぞ、いく。  
もう、止められないぞ。嫌なら言えよっ 友紀っ



ああ、もう出る……全部、出る！

~~~~~ あうっ！  
あ……

うっ……くうう！
まだ、もうちょっと、出し切るから！

股間の奥に残った精液を残らず注ぎ込む。
もうすっからかんになるくらい、田城さんへとぶつける

カラダ全体を強く感じながら、
自分の濁った欲望を吐き出していく。

……はあ、
あん……ん

ふう、ふう、ふう……あ、田城さんも、
気持ちよくなってもうええ、みたいですね、はは

ピクッ

コポ……

ダグン

ハーッ
ハー

もう少し、このままで……。
ほんのちよっと残ってる精液も、
田城さんの膣内に……残していきますから

全身から力が抜け、田城さんとまだひとつになっている感覚だ。
しばらくこのままへ〇スを抜けそうにない。

あく出した出した、
もう流石に、限界……

はあ、
はー

え……

本当、寝てるときの顔は……
なんとも可愛げがあるよなあ

もぞ

最後の一滴まで膣内に射精しきってから、
俺は田城さんを再びベッドに寝かせ、気持ちを落ち着ける

トクン
トクン

コメ……

ここから上手いことごまかす方法を考えねばならないが、
あどけない上司の寝顔をみているとどうでもよくなってくる。
身綺麗にさせてホテルに置いてくか……会社のデスクで寝かせるか……

でもこんなにイチャイチャ愛し合ったら、
これで来週、またぶーぶー怒られても、
許せるような気がしますよ

うう...
んっ

プル

あんなに普段は口うるさい彼女がベッドの上では……的なやつだ。
今後田城さんが怒っている顔を想像しても、もはや笑えてくる。

また会社で雰囲気悪くなったら、
こうやってエッチしましょうね。
今度また、エッチな服とか道具とか、
……気持ちよくなれるもの用意しとくんで

脱ぎ散らかしたマイクロビキニを見ながら、
どんな服やコスが似合うかななんて考えてしまう。
年下の上司とのこういう付き合い方も、悪くない。

ヒクッ



ムカツク年下女上司睡姦記録

END

背景CG素材として下記のサイト様のイラストを
使用させていただきました。
みんちりえ(<https://min-chi.material.jp/>)